

## 2020年度事業計画

(単位 百万円/単位未満切捨)

区分	2020年度 事業計画	2019年度 事業計画額
		増減(率)
売上高	22,600	24,300
		▲ 1,700 (▲7.0%)
当期純利益	37	243
		▲ 206 (▲84.5%)

〔2020年度事業計画の特色・概要〕 ※事業計画における重点項目と達成に向けた施策など

### ■基本方針

NHKエデュケショナルは、公共放送の重要な役割のひとつ「教育」を専門的に担う制作集団として、創立以来30年以上研鑽を重ねてきました。子ども幼児、学校教育、美術、教養、語学、趣味、実用、科学、健康など多彩なジャンルで、NHK・Eテレを中心に総合テレビ、衛星放送、国際放送など、年間で約1万本の放送番組を制作しています。さらに、イベントや、展覧会の展示映像、通信教育の教材など、番組を展開したさまざまなコンテンツを生み出し、提供しています。

昨年度末から急激に拡大した新型コロナウイルス感染症によって、社会には大きな不安が広がり、またこの感染症とともに生きるための「新しい生活様式」が求められています。そうした中、2020年度はさらに多様な形で「学び」の機会を提供し、豊かな暮らしと人々の安心を支えることが重要になると考えます。

NHKエデュケショナルは、「いつでも どこでも だれでも “学びたい” に応えます」という経営方針のもと、公共メディアへの進化と「NHKらしさ」を追求するNHKグループの一員として、視聴者のみなさまの信頼と期待に応える豊かで質の高い番組を制作します。さらに、多様なデジタル技術も駆使し、幅広い年齢層、そして子どもや高齢者、障害者も利用しやすい、安心できめ細かい教育サービスを提供します。制作したコンテンツについては、NHKや他の関連団体とも連携して多角的な展開を進めます。あわせて、より創造的で効率的な組織運営と新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、「新しい働き方」の定着を目指します。

2020年度の重点施策、また行動計画は次の通りです。

### ■重点施策・行動計画

#### 【NHK関係業務】

- 新たな“学び”に応える番組を開発・制作し、放送サービスの向上に努めます
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と「新しい生活様式」に資するコンテンツを開発します
- 4K・8Kによる高品質な番組の開発・充実に取り組みます

教育分野における高い専門性を生かし、あらゆる年齢層の教育・教養・生活・福祉に資するコンテンツを開発・制作します。特にスマートフォンやタブレット、PCで地上波の視聴が可能になる「NHKプラス」のスタートを受け、これまで以上に多様で信頼性の高い情報を提供します。新型コロナウイルス感染症拡大防止と「新しい生活様式」への対応については、社会状況の変化を先取りしながら最新のニーズに応えるコンテンツを開発します。延期となった東京オリンピック・パラリンピックについては、より質の高い放送サービスを提供できるよう準備を重ねます。また、4K・8Kの超高精細映像と迫力ある音響を生かした番組も届けます。

#### 【自主事業（展開事業等）】

- デジタル関連事業を充実させ、より多くの人の学びを支えます
- 「新しい生活様式」に応える教育事業のあり方を追求するとともに、新規事業の開拓に積極的に挑戦し、事業の裾野を広げます

教育コンテンツ制作を基本に、将来を見据えた事業の開発・充実を努めます。多様化し拡大するデジタルコンテンツへの需要に着実に応え、未来につながるノウハウの蓄積を進めます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい状況に置かれているイベント事業をはじめ様々な事業について、「新しい生活様式」に合わせたあり方を考え実行していきます。4K・8K技術を活用した事業や、新たなニーズに応える教材開発などにも積極的に取り組みます。

#### 【組織・事業運営】

- 「新しい働き方」を推進します
- 組織のガバナンスを強化し、コンプライアンスの徹底に取り組みます
- 全社体制で、ITセキュリティ強化を進めます
- 下請法順守を堅持します

グループ経営の方針にもある「効率的で透明性の高い組織運営」を推進していきます。働き方改革では、創造性豊かな職場作りのため、業務フローの見直しやスクラップを進めます。特に新型コロナウイルス感染症対策として、業務用PCのモバイル化や会議のオンライン化、在宅勤務の条件緩和など、「新しい働き方」を推進します。リスクマネジメントについては、下請法の順守とあわせて、外部の協力会社も含めて適切に対応します。

※今期（第32期・2020年度）の事業計画は、東京オリンピック・パラリンピックの延期、また新型コロナウイルスの感染拡大など、7月時点の状況にあわせて修正しました。